

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和3年度第9回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和4年3月23日（水）16:00～17:00
- 場 所：こども病院 講堂
- 出席者：原理事長（議長）、桑野副理事長、石原理事、神坂理事、野中理事、久留監事、柳澤監事
[欠席：久保理事]

□ 議 事

【議案審議】

1 議案第9号 令和3年度補正予算について

<概要> 補正予算について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

（補正内容）

- ・ 給与費の増加：2億6,000万円（こども病院2,500万円、市民病院2億3,500万円）
国の経済対策として、看護職員処遇改善事業補助金を活用して、特殊業務手当を創設し、支給するとともに、県の補助金を活用して新型コロナウイルス感染症対応業務従事手当（一時金）を創設し、支給するもの
- ・ 市民病院の材料費、経費の増加：2億7,300万円余
高度な手術等による診療材料費等の増加、新型コロナ感染症に伴う外注検査等の増加

<主な意見等>

- 看護職員処遇改善事業補助金は、看護師全員（有期職員を含む）を対象としており、夜勤が前提の看護師の給与体系を踏まえた、国の経済対策となっていることはありがたい。

2 議案第10号 令和4年度年度計画（案）について

<概要> 年度計画について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

（主な取り組み）

《医療サービス》

【良質な医療の実践】

- （こども病院）「後遺症紹介先医療機関（仮称）」としての罹患後症状（後遺症）に対する医療の提供、循環器集中治療科の新設、小児薬物治療の推進、「アレルギーセンター（仮称）」の設置及び「アレルギー看護外来」の本格稼働
- （市民病院）消化器内視鏡治療体制強化のため、内視鏡検査台を拡充するとともに、病変のリアルタイム検出・鑑別が可能な内視鏡AIシステムの導入

【地域医療への貢献と医療連携の推進】

- （こども病院）福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、小児在宅医療の推進や地域医療連携を継続
- （市民病院）新規開業されたクリニック等への定期的な訪問活動など、病病・病診連携を積極的に推進

【災害時等の迅速かつ的確な対応】

- （こども病院）新興感染症等の感染拡大時における小児感染症医療の提供体制を確保するため、PPE（個人用防護具）の備蓄及び保管体制の強化等「平時」における有事に備えた取組
- （市民病院）感染症の知見や感染対策への取組などの情報提供を地域の医療従事者へ行う「（仮称）感染対策情報発信センター」の新設やBCP（事業継続計画）の見直し

《患者サービス》

【患者サービスの向上】

- （市民病院）全館への患者用フリーWi-Fiの導入や、総合案内へのロボットの導入により患者サービスの向上及び職員の負担軽減を図るなど、ICT（情報通信技術）の積極的な活用について検討

【情報発信】

- （こども病院）子ども向けホームページコンテンツによる年齢や発達、理解度に合わせた情報提供
- （市民病院）ホームページや広報誌、オンラインイベントシステム等を活用した情報発信や出前講座の実施

《医療の質の向上》

【病院スタッフの計画的な確保と教育・研修】

- （こども病院）ICTを活用したオンライン就職説明会やWEB研修の実施
- （市民病院）特別支援学校からの実習受入れなどによるダイバーシティの推進や、タスク・シェアリング/タスク・シフティングに向けた職員の資質向上

【信頼される医療の実践】

- （こども病院）ロボット等の導入によるCOVID-19対策の効率化や病院機能評価を踏まえた業務改善
- （市民病院）BCPの見直しによる感染防止対策の徹底や多職種によるチーム医療の推進及び患者指導の充実等

《自律性・機動性の高い運営管理体制の充実》

- 情報システムの管理やセキュリティの強化、DX（Digital Transformation）の推進などを一体的にマネジメントする体制の構築

《事務部門の機能強化》

- テーマごとの職場内研修等による効果的なOJTの実施や、職員一人ひとりのITリテラシーの向上

《働きがいのある職場環境づくり》

- 人員配置や業務の見直しなど、医師の働き方改革に向けた職員の業務負担の軽減

《法令遵守と公平性・透明性の確保》

- 情報セキュリティ研修などによる個人情報保護等の職員教育の徹底

《持続可能な経営基盤の確立》

- （こども病院）医療環境の変化等を踏まえた収益確保及び費用削減、分析に基づく効率的な病院経営
- （市民病院）病床稼働率の向上や救急患者の受入れ、手術件数の増加等による収益確保及び人員体制等の最適化

《収支改善》

【収益確保】

- （こども病院）診療報酬改定への対応確認などによる請求業務の更なる精度向上
- （市民病院）内視鏡検査台の拡充や内視鏡AIシステムを導入等、消化器内視鏡治療体制を強化し、入院治療が必要な症例の確保

【費用削減】

- （両病院）ICTの活用による業務効率化や給与費比率の適正化、価格交渉等による診療材料費の更なる縮減
- （市民病院）内視鏡装置の更新にあたって、新たに内視鏡奨励単価払いシステム（VPP）を導入し、購入費用や保守費用等の縮減

《福岡市立こども病院における医療機能の充実》

- 引く続き、臨床研究や治験に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するとともに、患者の治療・救命に全力を尽くし、臓器提供の申し出がなされた際は円滑に対応できるよう必要な取組を行う

《福岡市民病院における経営改善の推進》

- 引き続き、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、現在の医療資源を最大限有効活用して経営の効率化に積極的に取り組む

＜主な意見等＞

- 今後の収支について、コロナの補助金は不透明であることもあり、必ずしも楽観できるものではない。

3 議案第 11 号 令和 4 年度予算案について

＜概要＞ 予算について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

収入：17,786 百万円 支出：18,392 百万円

(収支計画 収益：17,808 百万円 費用：17,907 百万円 純利益：▲98 百万円)

＜主な意見等＞

- 特になし。

4 議案第 12 号 診療科目及び組織規程の一部改正について

＜概要＞ 規程改正等について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

(改正等の内容)

・組織の設置

福岡市立こども病院における「循環器集中治療科」の新設

福岡市民病院における「感染対策情報発信センター」及び「医療情報室」の新設

「企画情報推進室」の新設

・職の設定等について

課長級の職として、「循環器集中診療科」に科長の職を、「感染対策情報発信センター」にセンター長の職を、

「医療情報室」及び「企画情報推進室」に室長の職を設定し、係長の職として、「感染対策情報発信センター」に

副センター長を、「医療情報室」に副室長を、「企画情報推進室」に副室長及び副室長補佐を設置するもの

＜主な意見等＞

- DXについては、企画情報推進室を設置し、理事長直下において推進していく。

5 議案第 13 号 職員就業規則の一部改正について

＜概要＞ 規程改正について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

(改正内容)

・不妊治療のための職務に専念する義務の免除（無給）の廃止

不妊治療に係る通院等のため、勤務しないことが相当であると認められるときに取得できる特別有給休暇（出生支援休暇）を新設することに伴い、現行の不妊治療のための職務に専念する義務の免除（無給）を廃止

・有期職員の産前・産後休暇の有給化

これまで無給の休暇として措置されていた有期職員の産前・産後休暇について、有給の休暇として措置

＜主な意見等＞

- これまで、不妊治療は職務に専念する義務の免除で無給とされ実績はなかったが、今回の特別有給休暇（出生支援休暇）の新設で有給となると、今後、申請されることが想定される。

【報告事項】

1 旧こども病院跡地処分の進捗状況について

<概要>

旧こども病院跡地処分の進捗状況について、事務局より説明を行った。

(内容)

令和4年3月市議会において、跡地活用方針案を報告

【跡地に導入する機能等】

- ①地域の魅力や市民の暮らしの質を高める機能を導入する
- ②2050年を見据えた脱炭素社会実現に資する機能等を導入する
- ③安全安心に繋がる機能等を導入する

<主な意見等>

- 特になし。

2 令和4年度 理事会開催日程について

<概要>

令和4年度 理事会開催日程について、事務局より説明を行った。

<主な意見等>

- 特になし。